

AJRL NETWORK

Association of Japanese Residents in LAO P.D.R.



2012年度

特別号

日本人会チャリティーバザー収益金からの寄付贈呈式を行いました。

毎年恒例の日本人会バザーでは、収益金の半分を日本語補習校に、残りの半分をラオスの小学校等に寄付してきています。去る3月25日、2012年度バザー収益金を活用し、ビエンチャン市にある3つの小学校に対して、ノートや定規等の文房具やサッカーボール、バドミントン等の運動用具を贈呈して参りましたので、報告いたします。寄付額は、3校合計で約930USD相当です（内訳詳細は2013年度総会資料6をご参照下さい）。のんびりして開放的で、どこか懐かしい感じのするラオスの小学校ですが、一校あたり年間の施設予算が約250~400USDと決して恵まれた教育環境にあるとは言えません。教員のみなさんからは、今回の寄付に対して深い謝意が表明されました。また、熱心に授業を受けていた生徒さんも、我々を見ると、みんな揃って「サバイディー」と笑顔であいさつをしてくれたのが印象的でした。ラオスの子供達が、少しでも良い環境で勉強をし、校庭で色々なスポーツを楽しむことができるよう、日本人会としてこれからも協力していければと言う思いを新たにしました。



バザーにご協力いただいた日本人会及び補習校関係者みなさま、また、今回の文房具等配布にあたり多大なご協力を賜りましたシャンティ国際ボランティア会のみなさま、本当にありがとうございました。（譲尾）



2012年度ラオス日本人会理事の離任挨拶文

会長代行

木下 俊夫

日本人会の皆様、昨年度、日本人会理事（副会長）を務めた木下俊夫です。昨年11月よりは、池田会長が、突然の人事異動となったことから、私が本会会長代行を務めて参りました。急遽の代行役であったため、至らないことも多々あったかとは存じますが、皆様のご指導、ご支援を賜り、何とか無事に任務を終えることが出来ました。

昨年を振り返りますと、皆様には、9月の体力測定・運動会、10月のチャリティーバザー、12月のクリスマス会、本年2月の芋煮会といったラオス日本人会の開催する行事に積極的参加していただき、ここに改めて感謝の意を表したいと思えます。特に、私としては、昨年12月のクリスマス会にて、ラオ・プラザホテルのボール・ルームが満席となる中、子供達と一緒にクリスマスソングを楽しく歌えたことが印象に残っています。この会にて、賛助会員の法人の方々から多種多様な景品を提供していただいたことも印象に残るものでした。更に、本年3月下旬にヴィエンチャン近郊の3つの小学校を直接訪問し、チャリティーバザー収益金の半額をスポーツ用品（サッカーボール、バトミントンの道具他）や文房具などの形で贈呈できたことも強く印象に残りました。私は、縁があって、2013年度も日本人会理事役を続投することになりました。来年度も引き続き当会の活動に対し、皆様のご理解とご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

副会長

串崎和洋

2010年度に続き理事を務めさせていただいた串崎です。2012年度はイベント担当理事兼副会長としていろいろなイベントに関わらせていただきました。

どのイベントも会員の皆様のご協力もあり、無事終わることができました。この場を借りて御礼を申し上げます。

日本人会理事としての活動はこれで終わりになりますが、会員としてこれからも皆様と関わる機会があると思えますので、今後ともよろしく申し上げます。

事務局

譲尾進

2012年度日本人会理事会で事務局を担当いたしました譲尾進と申します。

至らない点も多かったかと存じますが、バザーやクリスマス会などのイベントを通して、日本人同士、そしてラオスの人たちの交流促進に貢献出来ればと思い一年間微力を尽くして参りました。会員のみならず、そして理事のみならず、在任中は大変お世話になりました。この場を借りて深くお礼申し上げます。これからも、一会員として、日本人会の益々の発展と、ラオスと日本との友好関係深化に貢献していきたいと思えます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

賛助会員・法人グループ担当

中島 秀晃

3年間、理事を務めさせていただき、大変有難うございました。この3年間で、1年目は、副会長・イベント、2年目と3年目は、賛助会員と法人グループ担当をさせていただきました。

この大役を仰せつかったことによって、会員の皆様との接点が増え、且つ、親交が深まったことは、私の人生の中での宝物になったと確信しております。

この小さなラオスという国で、日本人の皆様が、日々努力し、何かに貢献している中での出会いは、貴重な経験・体験になったと思えます。

ただ、会員の皆様に満足が行く活動・行動をしたかというところ、全くそうでないと反省しています。会員の皆様と多々多くの意見を聞き、それを反映させていくということができなかったと思えます。

会員の皆様には、この3年間、ご迷惑をおかけしましたが、今後は、一会員として、日本人会を応援そして支援をさせていただきますので、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

本当に有難うございました。

吉田利司

昨年11月より半年足らずの短い理事就任期間ではありましたが、日本人会活動を通じ多くの方々と出会い、また種々イベントを通じラオス日本人会の一体感を共有させて頂いたことは大変貴重な経験となりました。微力ではありますが、今後はまた別の形にてラオスまた日本の発展のため力を尽くしていきたいと考えております。ラオス日本人会、また会員の皆様の益々の御発展・御健勝を祈念致しております。

広報担当

小泉 充

連続2期にわたり理事を務めさせていただきました。初年度は第一回目のJapan Festival で主に屋外イベントの取り纏めをさせていただき、非常に多忙且つ苦しい準備期間ではありましたが、担当として大いにエンジョイすることができ、自分が思いっきりエンジョイできたのだから一般の参加者はもっと楽しんでいただけたらと勝手な解釈をさせていただきました。そのほかにも豪雨の時期の合間を縫ってのナムグムダム・発電所見学も土砂崩れの情報が入り2度の現地見などいろいろと苦労が多かった第一期の理事でした。2期目はイベントを何にしようかと、さんざん考えた挙句に子供から大人まで参加できるイベントとしての体力測定と運動会、2年目となる芋煮会など、まず自分が楽しめる内容でなくてはと苦心しました。この苦労も参加者の皆さんの笑顔を見るとすっかり吹き飛んでしまいます。おかげさまでこの2年間は自分の中では非常に充実したラオス生活を送ることができたと感謝しています。今年アドバイザーという立場で会員の皆様とお付き合いさせていただくことになりました。どれほどのアドバイスができるのかは全くわかりませんがまた皆様のお役にたてれば幸いです。せっかくの外地・ラオス滞在です。皆様におかれましても積極的にラオス生活をエンジョイすることをお勧めし、離任のご挨拶とさせていただきます。

書記・名簿担当

大田 美紀

2012年度、書記と会員名簿を担当致しました。残念ながら、どちらも直接会員の方々と接する機会のない担当業務なのですが、それでも、会員名簿に新規入会された方を追加する際は、「また日本人会のメンバーが増えた」、と少し嬉しくなったり、また、初めてお目にかかる方でも、「あ、あの会員の方だ」と、お名前で思い出したりと、それなりの“役得(?)”も感じました。日本人会の活動においては、理事一同毎回、どのように会員の皆様の交流を促進し、楽しんでいただけるか、頭をひねって、話し合いを重ねました。実際は、先輩理事の方々に引っ張っていただけていただくことが多く、自身は一労働力にしかねたかもしれませんが、少しでも皆様に満足していただけたら、嬉しく思います。1年間、どうもありがとうございました。

国際機関・NGOグループ担当、会計担当

伊藤解子

国際機関・NGOグループ担当、会計担当をさせていただきました。ひとつのイベントや広報誌発行が終わるとすぐまた次の準備に入るというサイクルの中で、より多くの方が参加しやすく、楽しんでいただけるものを円滑に運営できるようにと、グループ内広報や会計管理両面において務めさせていただいたつもりしております。個人的には、普段のNGO仕事から離れ広く異業種の方にお会いし、お話しをお聞きすることができ、ラオスでの生活がより充実したものになった1年でした。イベントの助っ人にご協力いただいた方々にも大変お世話になりました。ありがとうございました。今後のラオス国日本人会のご発展をお祈りしております。

会員の皆様、 一年間、ありがとうございました

事務局（副）

佐々木慎弥

2012年度日本人会理事会で事務局（副）を担当いたしました佐々木慎弥と申します。至らない点も多かったかと存じますが、運動会、バザーやクリスマス会などのイベントを通して、日本人同士の交流促進に貢献出来ればと思ひ微力を尽くして参りました。イベント行事では特に芋煮会が心に残っています。慣れない包丁手つきで、大きなタロイモの皮むきは非常に苦心しましたが、味わいある芋煮を皆様にお出しできたのではないかと考えています。会員みなさま、在任中は大変お世話になりました。この場を借りて深くお礼申し上げます。これからも、一会員として、日本人会の益々の発展をお祈りします。今後とも宜しくお願い申し上げます。

広報・個人会員担当

新開あゆみ

昨年度、日本人会理事（広報・個人会員取り纏め）を務めさせて頂きました新開あゆみです。理事としての活動を通して、多くの会員の皆様と知り合い、様々なことを勉強させて頂きました。社会人としての経験も、ラオスでの生活経験も無い私ですが、一年間頑張ることができたのは、会員の皆様、理事の皆様の支えがあったからこそです。皆さま、本当にお世話になりました。ありがとうございます。今後の、ラオス国日本人会と皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

広報・個人会員担当

森卓

昨年度中は、広報の中でも主に日本人会の会報誌制作に携わらせて頂きました。白黒両面印刷のホッチキス二点綴じという誌面に、ボランティアベースによる会員の皆様からの投稿記事で支えられている媒体制作でしたが、その中では、会員の皆様の多岐にわたる活動や、ラオスへの温かい視点、日本人として情熱をもって進出されている企業やビジネスマンの方々が登場し、これらのことを会報誌への投稿を通じて教えて頂きました。

理事や会員の皆様が共に休日を返上し、時には汗をかいて成

功を収めたイベントなど、その活動を記録し、参加されなかった会員の皆様や、これから会員になろうと思われている方へ広く伝える意味でも、広報の役割は重要だと思います。

私自身が、昨年度中に期待されている結果を出せたかどうか、至らない点も多々あったとは思いますが、理事や会員の皆様に支えられて、任期を終える事ができました。

一年間、本当にありがとうございました。

補習校担当

鈴木基義

昨年度、日本人会理事（補習校担当）を務めさせて頂きました鈴木基義です。ヴィエンチャン日本語補習校は、限られた予算のため、教員1人が2つの学年の生徒を受け持つ「複式」教育で行われています。いつ追い出されるかわからないVISの校舎、生徒数の変動による日本政府補助金の支給額の増減。ボランティア教員の貢献に依存しなければ持ちこたえられない教員体制。生徒数が少ないために保護者の数が少なく、限られた保護者のなかから運営委員が選出され、過剰な負担をしいられています。またVISの休日に左右される補習校の年間授業計画など、ヴィエンチャン日本語補習校の環境は独自校舎をもたないこともあり、厳しいものがあります。私はヴィエンチャン日本語補習校のこうした環境について不平不満を述べるつもりはありません。改善して行かなくてはならない数多くの問題を抱えながらも、週3回の授業を実施している日本語補習校は、世界でおそらくヴィエンチャンだけであることを誇りに思います。この週3回授業体制を支える教員の熱意、ボランティア教員の貢献、在ラオス日本国大使館ならびにラオス国日本人会からの絶大な支援、運営委員会の委員、保護者の子を思う惜しめない協力があるからこそ、ヴィエンチャン日本語補習校は週3回を誇る世界一の学校として存続できる訳です。改めてこの場をかり心から感謝の意を表します。本年度は日本語補習校校長を拝命しました。引き続きよろしくお願いいたします。

今後とも
日本人会を
よろしくお願い致します

2012年度理事一同